137

CONTROL 様々な用途に対応可能な

制御コントローラ、バルブをラインナップしています。

制御シリーズ

ケミフィット™C1スピードコントローラ



●耐薬品性を必要とする環境 (雰 囲気) に適する

プッシュワン接続 ●インラインタイプ (ESU) は、 配管ライン上で集中制御が

P.138

制御シリーズ

コンパクトスピードコントローラ

- ●従来サイズに比べてコンパクト ●プッシュワン接続
- ●無電解ニッケルめっき処理
- ●Rねじ部にシール加工

P.140

スピードコントローラ



●プッシュワン接続

可能

- ●インラインタイプ (ASU) は、
- 配管ライン上で集中制御が可能
- ●無雷解ニッケルめっき処理

P.142

スロットルバルブ



●流量微調整が可能

- ●インラインタイプ (ANU) は、 配管ライン上で集中制御が可能
- ●プッシュワン接続
- ●無雷解=ッケルめっき処理

P 144

制御シリーズ

制御シリーズ

ミニチュアバルブ



●流量調整が容易

●ミリサイズのみプッシュワン接 続(インチサイズは、クイック シールタイプになります)

P.146

切替シリーズ





●コンパクトな配管が可能

●プッシュワン接続 ●ハンドルの位置を変更可能

●ニッケルめっき処理

P.149

着脱シリーズ

バルブ内蔵コネクタ



●チューブの着脱により、継手内

- 部のバルブを開閉 ●プッシュワン接続
- ●無雷解ニッケルめっき処理

P.152

P.153

着脱シリーズ



136

O.D.C.101

- ●プッシュ・トゥ・コネクト方式 ●カプラー側に自動開閉バルブ を内蔵
- ●プッシュワン継手一体型をライ

O.D.C.103



- ●プッシュ・トゥ・コネクト方式 ●カプラー側に自動開閉バルブ を内蔵
- ●101シリーズより更にコンパクト ●無電解ニッケルめっき処理

P.156

制御・切替・着脱シリーズ製品に関する取扱い上の注意事項

介安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、当社製品を正しくお使いいただくための注意事項で、人体への危害や財産などへの損害を未然に防止するためのものです。これらの注意事項は、取扱 いを誤った場合に発生する危害や損害の大きさの程度により、「危険」「警告」「注意」の3段階に区分しています。いずれの段階も安全に関する重要な内容ですので、ISO 4414 の最新版(※1)及びJIS B 8370(※2), ISO 4413(※3)及びJIS B 8361(※4)と合わせて必ず守ってください。

※4 JIS B 8361 油圧システム通則

▲ 直検 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定され、かつ、危険発生時の警告の緊急性が高い限定的な場合。

◆警告 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合。

↑注意 取扱いを誤った場合に、軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合。

⚠選定する前に

⚠危険

人体や生命の維持・管理を目的とする機器・装置には使用できません。

・特に安全であることが必要な機器・装置に使用する場合は、万が一抜け、破裂、漏れなどが発生した場合でも危険を防止することができる様、予防処置を必ず講じてください。

・人間の輸送を目的とする装置・機器・各種車両・航空などの乗り物や、人間が乗ることを目的とするレジャー機器・装置への使用、仕様を誤った際に人体へ直接影響が及ぶ 医療装置や食品・飲料水に触れる機器への使用については、当社までお問合せください。

⚠選定時に

企警告

・ 使用条件が本カタログ記載の 「使用条件」 を満足することを確認してください。

腐食性ガス・引火性ガス等を使用流体とすることや、その雰囲気下での使用は避けてください。

⚠注意

過度の振動及び衝撃の加わる場所では使用できません。

- ・継手の使用条件とチューブの使用条件が異なる場合、同項目の小さい値以下で選定ください。
- ・ 当社の継手に対しては、当社のチューブまたは JIS B 8381-1995 適合品を選定ください。ケミフィット各シリーズ継手に対しては、当社のチューブを選定ください。
- ・薬品を流体及び雰囲気で使用される場合は「耐薬品性資料」をご参考ください。めっきに関する耐薬品性については当社までお問合せください。
- ・スパッタ (高温金属くず) が発生し継手に付着する可能性がある場合は、難燃性仕様の継手以外使用しないでください。火災の原因となる場合があります。
- O.D.C.101シリーズ及び103シリーズのカプラーとニップルは、組み合わせにおいて他社製品との互換性はありません。
- ・ケミフィットC1スピードコントローラは、使用温度により最高使用圧力が異なります。選定の際は必ず「使用温度と最高使用圧力の関係グラフ」を参照ください。
- ・プッシュワンタイプは漏れゼロではありません。わずかに漏れの生じる場合があります。漏れを許容しない環境でご使用の場合はご注意ください。

⚠取付け時に

≜警告

ラー チューブが継手から万一外れた場合に、人または財産に損害を与える恐れのある箇所への取付けにはチューブを固定するなどの対策を取ってください。

- -1 人工 あいます。 ・ 制御・切替・着脱製品の取付け方法は、チューブ取付け形状が同じシリーズ(プッシュワンタイプ、クイックシールタイプ、ケミフィットタイプなど)の取扱い説明書に従って取付けてください。 ・ 制御・切替・着脱製品は放り投げたり、落としたりしないようにしてください。 衝撃が加わった場合、外的に損傷が無くても内部部品が損傷することがあります。 ・ 取付け側の材質によっては膨らみや割れなどが生じることがありますので、取付け時は必ず取付け側の強度をご確認ください。
- ねじ部にシール加工をしている継手は有機溶剤などの使用流体によって影潤し、ねじ部より漏れが発生する可能性がありますのでご注意ください。
- 継手のチューブ挿入口での急な曲げ配管は避けてください。使用チューブ径の2倍の直線部分を設けてください。
- ・ねじ部やチューブ取付け部が損傷した継手の使用は避けてください。また、再利用可能な製品の使用時には、必ず、その製品が損傷していないことを確認してください。 ・当社または当社が指定する者以外が二次加工をしたり、本体を分解・改造した製品は保証いたしません。
- チューブに張力がかかる状態での配管や、継手にねじりや曲げの負荷がかかる状態での配管は避けてください
- ・ チューブに張力がかがる必必といる。目に、総主にはなりず回かがかる状態といるに自は起けてください。
 ・ チューブ取付け形状がブッシュワンタイプシリーズに水を流体として使用する場合は、可動部分での配管を避けてください。
 ・ チューブ取付け形状がプッシュワンタイプシリーズで漏れが生じた場合は、一旦チューブを取り外し、継手内部を軽くエアブローしてください。
- また、チューブ先端部分の爪が食い込んだ箇所を切り落としてから再度チューブを接続してください。 ・チューブ取付け形状がクイックシールシリーズのスリーブは再使用出来ません。1回取り外しごとに新品と交換してください。
- ・異物が製品内部に混入、もしくは内部部品に接触するような環境では使用しないでください。破損や漏れの原因となります。
- ・ねじ側またはチューブ挿入口側が繰返し回転または揺動するような使用はしないでください。

⚠使用時に

当社製品を組み込んだ装置、機器、システムの性能、安全性はその設計者または仕様を判断した人の責任となります。

⚠注意

- ・加圧時はチュープや継手に触れないでください。加圧中のチュープや継手に不用意に近づいたり、触れたりするとチュープや継手が突然破損した場合、流体などが飛散して危険です。 流体が高温の場合はチューブや継手に触れないでください。「やけど」の恐れがあります。
- ・制御・切替・着脱製品は特に、金属粉や砂塵の多い場所では作動不良などの不具合が発生し故障の原因となります。そのような場所での使用は避けてください。

⚠保管時に

<u>↑</u>注意

- 製品を未使用のまま保管される場合は、必ず、ごみ等が付着しない場所に保管してください。 ゴミ等が製品の内部に付着すると製品本体や周辺機器に入り込み、故障の原因と なる可能性があります。
- 直射日光を避け、40 ℃以下で乾燥したところに保管してください。
- ・制御・切替・着脱製品の長期間保管後のご使用は避けてください。製造後1年を目安にしてください。
- ・クリーン製品ケミフィットシリーズは、使用する直前に開封してください。また、埃などが少ない場所で箱に入れて保管してください。

⚠保守・点検時に

- ・ 当社製品の取扱いや取り外しは必ず供給している電源等を切り、供給圧力を止め、配管中の圧縮空気を排気するなど、装置や機器・システムを停止させ、安全を確認してから行ってください。
- 定期点検を必ずしてください。その際に外傷や腐食、磨耗等、製品の劣化や無理な配管が無いことを確認し、必要に応じて新品と交換してください。
- ・チューブ取付け形状がクイックシールタイプのシリーズを長期間連続してご使用になられる場合、または、使用温度範囲内高温度域で連続してご使用になられる場合は、ナット部分 を定期的に増締めしてください。

⚠廃棄時に

エース) 天要となった製品の処理は、産業廃棄物として処理するか、専門業者に処理を委託してください。 特に、ふっ素樹脂を用いた製品を焼却すると、有害な分解ガスを生じる恐れがあります。